

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		水俣病に関する総合的研究		担当部局庁	環境保健部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		昭和48年-		担当課室	特殊疾病対策室	大坪 寛子		
会計区分		一般会計		施策名	7-2 水俣病対策 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決 に関する特別措置法第37条		関係する計 画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		水俣病は、今なお、水俣病の認定患者の症候の推移や地域住民の健康問題等についての課題が残されており、行政事務を円滑に進めていくためにも、水俣病に関する科学的知見を集積する必要がある。さらに、水俣病の発生機序やメチル水銀毒性等も完全に解明されたわけではなく、これらについての研究を水俣病に関する基盤的研究と位置付け、メチル水銀による神経毒性の発現機構の解明及び急性メチル水銀中毒の治療方法の開発、環境汚染への対策方法を開発することが望まれる。本業務は、このような状況を踏まえ、水俣病について「社会的課題に関する研究」及び「水俣病に関する基盤的研究」の両分野における基礎的研究及び応用的研究を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		本業務は、水俣病やメチル水銀に関して、社会的課題に関する研究(水俣病発生地域住民の健康問題に関する研究等)、基盤的研究(高齢者の二点識別覚に関する研究等)の2つの領域において、研究班を組織し、個々の研究ごとに研究項目を設定して実施している。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算 の 状 況	当初予算	37	56	59	39	35
			補正予算	0	0	0	0	
			繰越し等	0	0	0	0	
			計	37	56	59	39	35
		執行額	39	6	25			
執行率(%)	105%	11%	42%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		水俣病に代表される感覚障害の客観的計測の実用化やメチル水銀ばく露評価方の開発等においては、課題等が多岐にわたっており定量的な指標の設定は困難である。		成果実績				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		水俣病に代表される感覚障害の客観的計測の実用化やメチル水銀ばく露評価方の開発等においては、課題等が多岐にわたっており定量的な指標の設定は困難である。		活動実績 (当初見込み)		()	()	()
単位当たり コスト		(円/)		算出根拠				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	公害調査等委託費	39	35	人件費見直しに伴う減額				
	計	39	35					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	目的に沿った事業を着実に実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先・金額は全て競争入札により決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業においては、メチル水銀が人体に及ぼす影響について、感覚障害の客観的検査法として脳磁波を計測する技術の開発が行われるなどの成果をあげており、「重金属による健康影響に関する総合的研究」研究成果発表会において、外部からも高い評価を受けているとともに、国内外の若手研究者の育成に寄与している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業で実施した各研究は、外部委員により評価を受けており、その結果を踏まえて研究継続の可否、研究内容の変更等を行っている。メチル水銀による健康影響といった国が取り組むべき課題について、効率よく研究が行われている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	複数年に渡り継続している事業であり既存の知見を活かし各種研究に係る人件費等を見直すことにより、予算額を節減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	各種研究に係る人件費等を見直すことにより、概算要求額を縮減。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	289	平成23年行政事業レビュー	227

環境省
25百万円

水俣病に関して、科学的知見を集積し、
また、水俣病の発生機序やメチル水銀
の毒性・汚染への対策方法の開発につ
ながる研究を実施する

【一般競争入札:委託】

A. 日本エヌ・ユー・エス株式会社
22百万円

研究班の設置・支払、評価委員会
及び推進委員会の設置・開催等

【一般競争入札:委託】

C. 社会システム株式会社
3百万円

検討委員会及び法学的研究の開
催等

【再委託(外注)】

B. 大学等(5班)
13.4百万円

研究班:

- I 新潟大学(主任研究者:西澤 正豊)
- II 国立長寿医療センター(主任研究者:中村 昭範)
- III 秋田大学(主任研究者:村田 勝敬)
- IV 東北大学(主任研究者:永沼 章)
- V 山梨大学(主任研究者:小泉 修一)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

A.日本エヌ・ユー・エス株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	人件費	4.6			
諸謝金	推進委員会等謝金	0.4			
旅費	委員、事務局旅費	0.9			
外注費	委託研究費	13.0			
賃金	研究補助者 4人	0.2			
借料及び損料	会議室	0.4			
印刷製本費	資料	0.2			
その他	その他	0.3			
一般管理費		2.0			
計		22	計		0
B.東北大学			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	研究関係の消耗品	5.4			
旅費	交通費	0.1			
計		5.5	計		0
C.社会システム株式会社			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	人件費	2.0			
諸謝金	推進委員会等謝金	1.1			
旅費	委員、事務局旅費	0.2			
印刷製本費	資料	0.1			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス株式会社	水俣病について「社会的課題に関する研究」及び「水俣病に関する基盤的研究」の両分野における基礎的研究及び応用的研究	22	2	66%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北大学	メチル水銀に対する感受性決定の分子機構に関する研究	5.5	—	—
2	国立長寿医療研究センター	高齢者の二点識別覚に関する研究	3.3	—	—
3	山梨大学	低濃度メチル水銀暴露からの中枢神経細胞保護に関する研究	3.0	—	—
4	新潟大学	メチル水銀暴露による神経症状の治癒に関する研究	0.8	—	—
5	秋田大学	メチル水銀ばく露による健康問題の国際的課題に関する研究	0.8	—	—
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会システム株式会社	法的観点による水俣病問題の検証業務	3	3	83%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					